

安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報

会社名	株式会社エーゼット
所在地	大阪市鶴見区茨田大宮 1-7-59
担当者	営業部
電話番号	06-6915-3501
FAX番号	06-6915-1202
緊急連絡先	所在地に同じ
作成日	2023/02/27

製品名： KM-001 極圧・水置換スプレー

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

エアゾール

区分 1

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性

区分 1

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

区分 3（麻酔作用）

誤えん有害性

区分 1

環境に対する有害性

水生環境有害性、長期（慢性）

区分 3

※記載がないものは区分に該当しない、または分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

H222: 極めて可燃性の高いエアゾール

H229: 高压容器：熱すると破裂のおそれ

H318: 重篤な眼の損傷

H336: 眠気またはめまいのおそれ

H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

H412: 長期継続的影響により水生生物に有害

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
成分及び含有量(wt%)	石油系溶剤(30-50%)、鉱油(1-20%)、添加剤(1-20%)、噴射剤(LPG) (30-50%)
化学式または構造式	企業秘密のため非公表
CAS No.	企業秘密のため非公表

4. 応急措置

吸入した場合：	新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。必要なら医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合：	口をすすぐ。無理に吐かせない。医師の手当を受ける。
眼に入った場合：	水でよく洗う。コンタクトレンズを装着している場合、固着していなければ外す。十分洗浄後、医師の手当を受ける。

消火方法： 速やかに容器を安全な場所に移す。
消火に棒状の水を使用してはいけない。
初期の消火には下記の消火剤を用いる。

保護具（呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等）を着用する。

風上から作業する。

砂、おがくず、ウエス、新聞紙等に吸い込ませて、回収する。

土壌、河川、湖沼、海域、下水道等に流入しないように注意する。

浸透性及び揮発性があるので、付近の着火剤になるものは速やかに取り除く。

管理濃度	設定されていない
許容濃度	日本産業衛生学会 石油系溶剤： 設定されていない 鉍油： 3mg/m ³ (ミストとして)
	ACGIH(TWA) 石油系溶剤： 1200mg/m ³ 鉍油： 5mg/m ³ (ミストとして)
設備対策	排気装置を設けるか通気性を良くする。 身体洗浄、うがいができる洗浄設備を設置する。
呼吸用保護	必要であれば防毒マスクを着用する。
眼の保護	保護眼鏡を着用する。
手の保護	耐溶剤性の手袋を着用する。
皮膚、身体の保護	長時間にわたって取り扱う場合、または濡れる場合には耐油性の長袖作業着等を着用する。

外観等	黄褐色透明液体
揮発性	あり
密度	約 0.83g/cm ³ (15℃) (原液)
溶解性	水に不溶
引火点	75℃ (タグ密閉式)
発火点	データなし
爆発限界	データなし

10. 安定性及び反応性

可燃性	あり
安定性	安定
反応性	強酸化剤との接触を避ける。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	石油系溶剤	LD ₅₀ >15000mg/kg (ラット)
		鉱油	LD ₅₀ >5000mg/kg (ラット)
	経皮	石油系溶剤	LD ₅₀ >3160mg/kg (ウサギ)
		鉱油	LD ₅₀ >5000mg/kg (ラット)
刺激性	混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。		
感作性	有用なデータなし		
変異原性	有用なデータなし		
発がん性	使用している基油は IARC ではグループ 3 に分類。(人に対する発がん性について分類できない。)		
生殖毒性	有用なデータなし		
特定標的臓器毒性	混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。		
誤えん有害性	混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。		

12. 環境影響情報

生態毒性	石油系溶剤	有用なデータなし	
	鉱油	魚類(フットヘッド・ミノ)	LL ₅₀ >100mg/L (96h)
		甲殻類(オミジノコ)	LL ₅₀ /NOEL>10000mg/kg (48h)
残留性・分解性	有用なデータなし		

13. 廃棄上の注意

廃棄物処理法に従って自ら処理するか、産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合、そこに委託して処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号	1950
品名	エアゾール
国連分類	クラス 2.1
輸送時には「取扱いおよび保管上の注意」の項に記載した内容に留意するほか、容器に漏洩、破損のないことを確かめ、荷崩れを起こさないよう確実に積み込む。	
さらに関連法令に従った措置も講じる。	

15. 適用法令

消防法	第 4 類第 3 石油類 危険等級Ⅲ
労働安全衛生法	通知対象物：鉱油、ブタン（噴射剤） 表示対象物：鉱油、ブタン（噴射剤）
PRTR 法	非該当
廃棄物の処理および清掃に関する法律	産業廃棄物規制（拡散、流出の禁止）

16. その他

参考文献	1.化学品の分類及び表示に関する世界調和システム(GHS) 改訂 8 版 (2019) 2.日本規格協会 JIS Z 7252:2019、JIS Z 7253:2019 3.独立行政法人 製品評価技術基盤機構(nite) [GHS 関連情報] 4.各原料の SDS
注意事項	この安全データシート(SDS)は入手可能なデータをもとに通常の手配を想定して作成したものです。 SDS は安全の保証を約束するものではありません。 取扱者は状況に応じて使用してください。

SDS の内容は新たな知見により予告なく変更することがあります。
